

# 認知症初期集中支援チームの チーム員会議を報道機関に公開します

## 1. 認知症初期集中支援チームの設置

- ・平成 27 年 4 月、桑名市は早期に認知症の診断がされ、速やかに適切な医療・介護が受けられる初期の対応を行うため、認知症初期集中支援チームを設置しました。
- ・認知症初期集中支援チームの設置は、平成 27 年度より介護保険制度の包括的支援事業に位置づけられ、平成 30 年度までにすべての市町村で設置することとなっています。三重県内では、平成 26 年度にスタートした東員町に続く設置となり、平成 27 年 4 月からは四日市市、志摩市、玉城町、度会町も設置しています。

## 2. 認知症初期集中支援チームについて

- ・各地域包括支援センター（5カ所）に設置
  - ・各チーム員の構成は嘱託医（桑名医師会所属の認知症サポート医）、地域包括支援センター保健専門職、福祉専門職各 1 名の計 3 名
  - ・支援の対象者は、認知症が疑われる方や認知症の方で、医療、介護サービスを利用していない方や、認知症の行動・心理症状が顕著で、対応に苦慮している方など
  - ・専門医療機関、かかりつけ医と連携し支援していきます。
- ⇒対応が困難になってから支援を開始する「事後的な対応」から、早い段階で気づき、適切な支援につなげる「事前的な対応」へ転換することを目指します。

## 3. 認知症初期集中支援チームの主な業務

- ・訪問支援対象者の把握：桑名市日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』を活用し、医療・介護サービスを受けていない方で支援が必要な方を発掘します。また、民生委員、地域の方、医療機関等からの情報提供により把握します。
- ・訪問等の初期集中支援：本人の生活状況や、家族の状況等を情報収集し、認知機能・症状の様子を、観察・評価します。その人の状況に合わせ、専門的医療機関や、介護保険サービス利用の説明、本人・家族への心理的サポート、生活環境の改善などを支援します。
- ・チーム員会議の開催：支援対象者の観察・評価内容の確認、支援の方針・内容・頻度等を検討します。
- ・引き継ぎ後のモニタリング：医療機関、介護サービス等の支援が開始し、望ましい環境

が整った場合には認知症初期集中支援チームの支援を終了します。終了後も適切な環境が継続されているか本人等に確認していきます。

チーム員会議を報道機関に公開して開催します！

- ・日時：平成 27 年 6 月 4 日（木） 16：00～
- ・場所：ひがし胃腸科外科
- ・参加者：＜チーム員＞ひがし胃腸科外科 東医師  
北部西包括支援センター 保健専門職、福祉専門職各 1 名
- ・内容：チーム員会議のあり方について、ケース支援の検討、支援対象者について、訪問時の観察・評価内容について 等